

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

北中道小	学校
------	----

児童数	38
-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.06	19.24	33.76	40.88	51.44	9.54	143.71	21.28	50.67
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	12.94	19.53	38.06	41.06	48.76	9.60	137.32	13.35	55.38
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

男子は、20mシャトルラン、ソフトボール投げが全国平均、大阪市平均を上回った。体力合計得点は、大阪市、全国平均ともに下回っている。女子は、上体起こし、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、ソフトボール投げで大阪市平均を上回っており、体力合計得点、大阪市、全国平均ともに上回っている。男子、女子ともに握力、立ち幅跳びが全国平均・大阪市平均を下回っている。

質問項目「運動やスポーツすることは好きですか」では、肯定的な回答が、男子は全国平均より、4.5ポイント下回り、女子は、全国平均より9.2ポイント上回った。

1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子は全国平均より1.2ポイント高く、大阪市より1.7ポイント低かった。女子は全国平均より6.3ポイント、大阪市より3.6ポイント高かった、運動時間の短さが課題となっている。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校は、運動場が狭く、校区内の公園には十分に運動ができる環境がなく、体力向上には課題が多い。昨年度の途中から工事の関係で運動場がさらに狭くなり、遊具も一部使えなくなった。休み時間での遊び方に対しても制約をしなければならぬ状態であり、体育では運動量の確保を十分にできるように授業の内容を工夫するようにしてきた。また、休み時間の運動場の使い方を見直すなどして運動場の使い方の工夫を行い、児童へ遊びを通して運動への関心も高めるようにしてきた。そして、たてわり班でのなわとび週間や大縄大会の取り組みや運動場にジャンピングボードの設置なども行い運動への関心を高め、運動する機会を増やすことに努めてきた。さらに、運動への興味関心を高めるため、運動用具の整備も計画的に進めている。

そのような中、工事については、11月より運動場にあった工事資材はなくなり、運動場の制限もなくなり、運動場の使えるスペースが広がった。また、使えなくなっていた遊具も使えるようになった。今後は、今回の結果をふまえて、運動への興味・関心をさらに高めるとともに、体力向上に向けた取り組みを充実させていきたい。